

下記の講演動画はイベント期間中 24 時間いつでも視聴可能です

### 新ソリューション企画

#### AF1 DX 号令に困っていませんか？ エレキの DX はここから始める

株式会社図研  
事業本部 SE 統括部 第一 SE 部 第二 SE 課  
チーフエンジニア 梅津 尚昌



ここからエレキ DX の一歩を踏み出しませんか。  
兎にも角にも DX の号令が掛けられているものの、エレキ設計における DX をどう進めればいいのか分からない、そんなご相談が日々お客様より寄せられています。  
本セッションでは、エレキ設計 / 製造で DX を推進するための『図研 DX ソリューション』と、お客様の DX 指標を測定し、次に取るべきアクションを導出するための『エレキ DX 診断』についてもご紹介いたします。

#### AF2 リリースが決定しました！ 『DR-Navi』と AI で広がる 設計ナレッジ活用

株式会社図研  
事業本部 SE 統括部 第一 SE 部 第二 SE 課  
主任 高橋 絵美



昨年ご紹介しました『Circuit DR Navi』と『Knowledge Explorer』の連携による AI 適用型設計ナレッジ活用ソリューションは、多くのお客様からのご要望・ご期待をいただき、リリースが決定しました。

リモートワークのような働き方の変化は、先輩への気軽な相談や有識者を交えたワイガヤなどで気づきを得る機会の減少に繋がっています。そこで、AI が設計時の勘所や不具合事例といった示唆を与えてくれる仕組みが有効になります。

本セッションでは、実運用での具体的な活用イメージについてご紹介いたします。

#### AF3 さらに便利に！ 新『E3 Service Utilities』による 効果獲得事例

株式会社図研  
事業本部 SE 統括部 第二 SE 部 第二 SE 課  
柴崎 佑樹

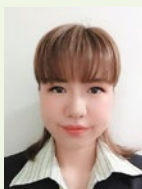


昨年ご紹介しました『E3.series 機能拡張パッケージ』を、お約束通りリリースしました。  
全 10 機能をラインアップしており、今年度の拡張では、シート内部品表や回路図 - ケーブル図間の整合性チェックなどの検図機能に加え、より多くの条件を加味した図面 / 帳票の生成機能など、設計業務の自動化範囲拡大による、さらなる効率化を実現します。

今回のセッションでは、最新機能を活用した「3 点照合の実現事例」など実際の活用イメージと効果をご紹介します。

#### AF4 現地・現物・現場が出来なくなった今こそ！ 軽量 3D『XVL』で実現する VR 組立検証 / AR 作業指示

株式会社図研  
事業本部 SE 統括部 第二 SE 部 第二 SE 課  
沖野 たまえ



設計者が現場に駆け出されていませんか。

移動制限によって、リモートワークのような新たな仕事のやり方が求められています。製造業の製品開発においても、これまでの現場主義からの脱却が避けられない課題となっています。

図研では『CR-8000』や『E3.series』と軽量 3D データ『XVL』との連携により、上流での設計品質作り込みを提言して参りましたが、本セッションでは、“バーチャル”をさらに加速させて、新たなワークスタイルに対応した設計～製造間の連携についてご紹介いたします。

#### AF5 電装設計の要件を明確化！ 『E3.series』の上流を担う 構想設計ソリューション

株式会社図研  
事業本部 SE 統括部 第二 SE 部 第三 SE 課  
岡本 健吾



電装設計の上流において、属人化されたドキュメントベースの装置仕様検討や、構想段階における検討不足による設計下流での大幅手戻りが課題となっています。

そのため、システム全体構成 / 電源系統 / 物理レイアウト検討といった構想段階で検討する内容を設計データとして構築し、上流で十分な検討を行った後に、詳細設計に渡していくことが重要となります。

本セッションでは、電装設計 CAD『E3.series』における詳細設計のインプットとして扱うことを前提とし、構想設計段階でシステム全体の構成や電源系統、物理レイアウト検討を行う新ソリューションをご紹介します。

#### AF6 リリースしました！ 根拠ある回路設計へ導く 『GENESYS-CR』の活用事例

株式会社図研  
事業本部 PI 推進部  
グループリーダー 阿部 稔



昨年ご紹介しましたエレキの要求～設計トレーサビリティを実現する『GENESYS-CR』について、多くのお客様からのご要望・ご期待をいただき、2021 年 3 月にリリースしました。

製品開発における要求確認から回路設計までの検討経緯を記録することで、抜け漏れの無い機能設計、検証 / デザインレビューの効率化が可能となります。

本セッションでは、誰でも簡単に使える『GENESYS-CR』の活用事例と、現在企画中の System Planner, DS-CR, Circuit DR Navi と連携した根拠ある電気設計へ導くためのソリューションをご紹介します。

#### AF7 エレキに 1DCAE を！ 手軽に上流で最適な設計解を導く プロトタイプング手法

株式会社図研  
事業本部 PI 推進部  
コンサルタント 松下 哲郎



実装方針の検討や見積りに困っていませんか？

構想検討フェーズでは、限られた時間の中でできる限り実現性を検証し、少しでも最適な設計解が求められます。

本セッションでは、エレキの構想検討フェーズに 1DCAE の考え方を持ち込み、エレキ 1D プロトタイプングツールを用いて、高い抽象度で手軽に多面的な実現性検証を行って設計見積を支援することで、より早くより正確な設計解を導き出す手法をご紹介します。